



上郷小スクールプラン2025

めざす学校

夢をもち、未来を切り拓いていくための資質・能力を育成し、「生きる力」を育む学校経営

目をかけ
手をかけ

学校の取組

1 について

- 授業では、児童の取組を認め、褒め続ける。
- 授業づくりの視点に基づき、子どもを主語にした学習活動を工夫する。

2 について

- 仲間の気持ちや考えを大切にする集団づくりを行う。
- 言語活動を充実させ、自分の考えをもって発表したり書かせたりし、言語能力の育成を図る。

3 について

- 『家庭学習の手引き』による学び方を指導し、習慣化を図る。
- 授業での学びを自分学びに進展させた家庭学習となるよう助言する。

学校の教育目標

すすんで「学ぶ」子ども

- 1 目的をもち、分かるまで粘り強く主体的に学習に取り組む子ども

- ・諦めず分かるまで主体的に学習に取り組む。

- 2 自分の考えを持ちよく考え、進んで話したり、分かりやすく書いたりする子ども

- ・話し手の目を見て、最後まで話を聞く。
- ・自分の考えをもって進んで発表をする。
- ・相手に分かるように書く。

- 3 家庭学習の習慣を身に付け、自ら取り組む子ども

- ・家庭学習の目標時間：10分×学年+10分以上
- ・めあてをもって家庭学習に取り組む。(のでから学習)

家庭の取組

1 について

- ・取組の過程(頑張り)を認め、褒める。

2 について

- ・学校の出来事について、親子で会話する。(顔を見て話を「聞く」)

3 について

- ・テレビを消し、静かな環境を作る。
- ・家庭学習の取組の跡を確認する。

1 について

- ・あいさつや言葉づかい運動等、児童会主体の取組を行う。
- ・集会や学級であいさつの大切さを具体的に指導する。

2 について

- ・いじめの未然防止・早期発見、早期対応をし、いじめを見逃さず指導する。
- ・互いのよさを認められるよう、異年齢活動や学級活動の取組をしたり授業づくりをしたりする。

3 について

- ・学級の仕事や清掃、委員会活動など、進んで働く態度を育てる。

美しい心で「表現する」子ども

- 1 明るくあいさつや感謝の言葉を自分から言える子ども

- ・いつでも、どこでも、だれにでも(3でも)、あいさつをする。
- ・「ありがとう」と声に出して伝える。

- 2 自他のよさを認め合い、一人ひとりを大切にし、協同して活動する子ども

- ・誰にでもふわふわ言葉で話しかける。
- ・自分のがんばりも友だちのがんばりもみとめる。

- 3 自分の役割を果たし、集団のために行動する子ども

- ・自分の仕事や後かたづけを最後まで行う。

1 について

- ・親が手本となってあいさつを交わす。「おはよう」「いってきます」「ただいま」「いただきます」「おやすみなさい」

2 について

- ・子どものよさを認め伝える。
- ・問題があれば、すぐ学校へ報告し、学校と力を合わせて早期解決を図る。

3 について

- ・家族の一員としての役割を与え、一仕事に取り組ませる。

つよい体に「きたえる」子ども

- 1 自分の健康や安全のために、ルールを考え守る子ども

- ・これまでのルールをもとに親子で相談して家庭でルールを決める。

- ・ゲームやネットの利用は1時間以内
平日：1時間30分以内(テレビ含む)
休日：2時間以内(テレビ含む)
夜8時になったらゲームやネットは止める。

- 2 基本的生活習慣が身についている子ども

- ・毎日、早寝・早起き・朝ごはんを守る。

- 3 目標を持って、自分から体を動かす子ども

- ・1日に1回以上、自分から外(体育館)で体を動かす。

1 について

- ・就寝の最低1時間前にはメディアとの接触を止め、質のよい眠りを確保する。
- ・メディア使用について家庭ルールを決め、定期的に振り返り、必要に応じて改善を加えていく。

2 について

- ・低： 9:00就寝 6:30起床
中： 9:30就寝 6:30起床
高： 10:00就寝 6:30起床
- ・毎日朝食をとらせる。

3 について

- ・徒歩通学をさせる。

1 について

- ・メディアの使い方を指導する。(親子講演会、情報モラルの授業)
- ・交通安全指導を徹底する。

2 について

- ・基本的生活習慣と生活リズムの大切さについて指導する。
- ・食育指導を充実させる。

3 について

- ・休み時間や授業の中でマラソン、スキルアップメニュー、縄跳びなど年間を通じて取りこませる。
- ・体を動かすことを推奨する